



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月26日

上場会社名 タキヒヨー株式会社 上場取引所 東証一部・名証一部
 コード番号 9982 URL <http://www.takihyo.co.jp>

代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)滝 一夫
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役スタッフ部門統轄 (氏名)武藤 篤 TEL 052-587-7111
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月7日 配当支払開始予定日 平成23年10月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	31,717	4.3	342	—	388	67.1	△332	—
23年2月期第2四半期	30,423	△3.3	△219	—	232	123.2	146	133.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第2四半期	△7	03	—	—
23年2月期第2四半期	3	03	3	02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	44,855	26,604	59.1	564 40
23年2月期	45,833	27,561	59.9	578 98

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 26,492百万円 23年2月期 27,469百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	4 00	—	4 00	8 00
24年2月期	—	4 00			
24年2月期(予想)			—	4 00	8 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無：無

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	68,000	1.2	950	140.2	1,550	34.7	710	19.9	15	14

(注) 当四半期における修正の有無：無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期第2四半期	48,000,000株	23年2月期	48,000,000株
-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年2月期第2四半期	1,060,402株	23年2月期	555,854株
-------------	------------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）

24年2月期第2四半期	47,221,876株	23年2月期第2四半期	48,227,188株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の混乱から回復傾向にあるものの、電力不足の長期化、欧米景気の減速、円高の進行など、先行き不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く環境につきましては、震災の影響による消費マインドの冷え込みが懸念されておりましたが、徐々に回復の兆しが見られるようになり、節電対応の機能素材商品やクールビズ商品が好調となりました。また、低価格商品の定着、セールの早期化が進む一方で、デザインや素材など付加価値性を前面に出したプロパー商品も好調になり、「価格」だけでなく「価値」を重視する傾向も見られるようになりました。

もともと、中国における生産コストの上昇、沿岸部の縫製工場の人手不足は依然として続いており、収益面では厳しい環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、専門店や衣料品通販において得意先の新規開拓を進めるとともに、付加価値性のある商品企画に努めてまいりました。商品アイテムでは、ワンピース、ボトム、水着、レイングッズなどが好調に推移し、記録的な残暑であった昨年に比べ、ブラウス、ニットなどの秋物の売上も順調でした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,717百万円（前年同四半期比4.3%増）と4期振りの増収となり、営業利益は342百万円（前年同四半期は219百万円の営業損失）、経常利益は388百万円（前年同四半期比67.1%増）となりました。四半期純損失につきましては、投資有価証券評価損545百万円など820百万円を特別損失に計上したことにより、332百万円（前年同四半期は146百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

流動資産は、前連結会計年度末比1,378百万円減少し、21,474百万円となりました。これは主として、現金及び預金が730百万円、繰延税金資産（流動）が241百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2,405百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比401百万円増加し、23,381百万円となりました。これは主として、投資有価証券が674百万円減少しましたが、土地が936百万円、繰延税金資産（固定）が130百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末比977百万円減少し、44,855百万円となりました。

②負債

負債は、前連結会計年度末比20百万円減少し、18,251百万円となりました。これは主として、デリバティブ債務が604百万円増加しましたが、借入金530百万円、繰延税金負債（固定）が93百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末比956百万円減少し、26,604百万円となりました。これは主として、利益剰余金、繰延ヘッジ損益が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年4月11日公表時から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

i) たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

ii) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

iii) 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目の算定については、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

iv) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

また、重要性が乏しく経営環境に著しい変化が発生していない連結子会社は、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は2百万円減少、経常利益は2百万円減少及び税金等調整前四半期純損失は61百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は107百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,511	1,781
受取手形及び売掛金	13,930	16,335
商品及び製品	3,828	3,953
仕掛品	21	40
原材料及び貯蔵品	13	11
その他	1,192	764
貸倒引当金	△22	△33
流動資産合計	21,474	22,853
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,013	14,076
その他	5,995	5,898
減価償却累計額	△2,984	△2,881
その他(純額)	3,011	3,017
有形固定資産合計	18,024	17,093
無形固定資産		
74	74	71
投資その他の資産		
投資有価証券	3,978	4,652
その他	1,642	1,482
貸倒引当金	△339	△319
投資その他の資産合計	5,281	5,815
固定資産合計	23,381	22,979
資産合計	44,855	45,833
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,286	8,210
短期借入金	1,580	2,760
1年内返済予定の長期借入金	700	600
未払法人税等	28	189
引当金	157	149
その他	2,924	2,360
流動負債合計	13,677	14,270
固定負債		
長期借入金	3,375	2,825
退職給付引当金	520	467
役員退職慰労引当金	190	236
資産除去債務	107	—
その他	380	473
固定負債合計	4,573	4,001
負債合計	18,251	18,271

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,622	3,622
資本剰余金	4,148	4,148
利益剰余金	20,194	20,721
自己株式	△438	△235
株主資本合計	27,527	28,256
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36	△146
繰延ヘッジ損益	△617	△261
土地再評価差額金	△262	△262
為替換算調整勘定	△117	△116
評価・換算差額等合計	△1,034	△787
新株予約権	112	92
純資産合計	26,604	27,561
負債純資産合計	44,855	45,833

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	30,423	31,717
売上原価	24,262	25,041
売上総利益	6,160	6,676
返品調整引当金繰入額	△12	△7
差引売上総利益	6,172	6,683
販売費及び一般管理費	6,391	6,341
営業利益又は営業損失(△)	△219	342
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	44	39
不動産賃貸料	65	—
為替差益	266	—
助成金収入	—	42
その他	141	47
営業外収益合計	521	136
営業外費用		
支払利息	30	44
不動産賃貸費用	30	—
為替差損	—	19
その他	8	24
営業外費用合計	69	89
経常利益	232	388
特別利益		
投資有価証券売却益	95	—
貸倒引当金戻入額	—	14
その他	36	0
特別利益合計	132	14
特別損失		
投資有価証券評価損	134	545
その他	59	275
特別損失合計	193	820
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	171	△417
法人税等	25	△85
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146	△332

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。